

## 平成29年5月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,632,648</b>	<b>205,010</b>	<b>393,431</b>	<b>14.9%</b>	<b>2,239,217</b>		
1. 営業収益	2,271,430	201,245	385,217	17.0%	1,886,213		
1. 給水収益	2,243,160	200,703	384,182	17.1%	1,858,978		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	28,270	542	1,036	3.7%	27,234		
2. 営業外収益	360,854	3,765	8,214	2.3%	352,640		
3. 特別利益	364				364		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,543,341</b>	<b>92,122</b>	<b>119,346</b>	<b>4.7%</b>	<b>2,423,995</b>	<b>561,220</b>	<b>22.1%</b>
1. 営業費用	2,291,121	92,100	119,268	5.2%	2,171,853	561,142	24.5%
1. 原水及び浄水費	483,842	28,626	40,442	8.4%	443,400	233,585	48.3%
2. 配水費	291,465	30,352	36,723	12.6%	254,742	104,893	36.0%
3. 給水費	113,124	5,570	7,040	6.2%	106,084	25,691	22.7%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,165	12,703	13,515	8.3%	148,650	146,007	90.0%
6. 総係費	163,592	14,850	21,548	13.2%	142,044	50,966	31.2%
8. 減価償却費	1,026,833				1,026,833		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	230,415				230,415		
3. 特別損失	1,805	21	77	4.3%	1,728	77	4.3%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,820,621</b>	<b>2,321</b>	<b>2,645</b>	<b>0.1%</b>	<b>1,817,976</b>		
1. 企業債	1,069,400				1,069,400		
2. 負担金・補償金	297,951	625	625	0.2%	297,326		
3. 補助金	133,293				133,293		
4. 出資金	309,555				309,555		
5. 加入金	10,422	1,696	2,020	19.4%	8,402		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,050,300</b>	<b>2,714</b>	<b>5,512</b>	<b>0.2%</b>	<b>3,044,788</b>	<b>788,382</b>	<b>25.8%</b>
1. 建設改良費	2,368,052	2,714	5,512	0.2%	2,362,540	788,382	33.3%
1. 取水施設整備費	827,307				827,307	501,660	60.6%
2. 導水施設整備費	17,820				17,820		
3. 浄水施設整備費	190,018				190,018	5,076	2.7%
4. 送水施設整備費	122,713				122,713	78,840	64.2%
5. 配給水施設整備費	1,205,334	2,714	5,512	0.5%	1,199,822	202,806	16.8%
6. 消防設備整備費	4,860				4,860		
2. 企業債償還金	682,248				682,248		
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>47,324</b>	<b>1,550</b>	<b>1,550</b>	<b>3.3%</b>	<b>45,774</b>	<b>1,550</b>	<b>3.3%</b>
①有収水量	7,914,100	706,576	1,340,535	16.9%	6,573,565		
②供給単価	283.44	284.05	286.59	101.1%	△ 3.15		
③給水原価	321.14	130.35	88.97	27.7%	232.17		
<b>人件費</b>	<b>236,921</b>	<b>21,765</b>	<b>36,011</b>	<b>15.2%</b>	<b>200,910</b>		
1. 収益的収支	196,637	19,223	30,693	15.6%	165,944		
1. 職員給与費	195,857	19,044	30,513	15.6%	165,344		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	780	180	180	23.1%	600		
2. 資本的収支	40,284	2,542	5,318	13.2%	34,966		
* 職員給与費	236,141	21,586	35,832	15.2%	200,309		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	9.5%	7.9%				
2. 全職員	10.5%	10.8%	9.3%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>44,943,525</b>	<b>44,949,019</b>	<b>5,493</b>	
*減価償却累計額	18,794,440	18,794,440		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,292,328</b>	<b>3,560,239</b>	<b>267,911</b>	
1. 現金預金	2,594,861	2,933,044	338,182	
2. 未収金	576,010	268,495	△ 307,514	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,572	31,501	△ 2,071	
5. 前払費用・前払金	87,886	320,935	233,049	工事前払金等
6. その他		6,264	6,264	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>113,215</b>	<b>113,215</b>	
1. 営業費用		113,143	113,143	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		72	72	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,191,710</b>	<b>386,619</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,805,204</b>	<b>11,808,703</b>	<b>3,498</b>	
1. 企業債	11,537,770	11,541,269	3,498	
2. 引当金	267,434	267,434		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,064,366</b>	<b>1,080,600</b>	<b>16,234</b>	
1. 企業債	682,244	678,746	△ 3,498	H29年度償還元金
2. 未払金	219,482	208,487	△ 10,995	
3. 前受金	148,062	148,050	△ 12	
4. 引当金	14,186	14,186		賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	392	31,131	30,739	
うち仮受消費税		29,189	29,189	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,746,416</b>	<b>9,748,912</b>	<b>2,495</b>	
1. 長期前受金	9,746,416	9,748,912	2,495	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,569,237	3,569,237		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,178,427</b>	<b>10,178,427</b>		
1. 自己資本金	10,178,427	10,178,427		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				= 企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>215,737</b>	<b>215,737</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	192,837	192,837		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>364,391</b>	<b>364,391</b>	
1. 営業収益		356,760	356,760	
2. 営業外収益		7,632	7,632	
3. 特別利益				
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,191,710</b>	<b>386,619</b>	
a. 供給単価 (円、銭)	265.36	= 給水収益 ÷ 有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	84.40	= 原価算入額 ÷ 有収水量		当月予算
②シミュレーション	240.71	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	76.43%	= 一日平均配水量 ÷ 施設能力		
d. 有収率	84.35%	= 有収水量 ÷ 配水量		
e. 流動比率	329.42%	= 流動資産 ÷ 流動負債		
f. 現金預金比率	271.43%	= 現金預金 ÷ 流動負債		

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 平成29年 5 月期 業務実績報告書(水道管理課)

## 一 般 事 項

### 1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,737	61,425	61,800	61,503	△375	△78
2 調定量	m <sup>3</sup>	702,330	1,332,039	1,325,000	1,337,311	7,039	△5,272
3 調定料金(税抜)	円	185,835,790	355,723,754	351,000,000	357,235,200	4,723,754	△1,511,446
4 口振加入件数	件	25,370	50,628	-	50,932	-	△304

### 2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	81,676	-	81,722	△ 46
6 給水件数	件	30,495	-	30,609	△ 114
7 開栓処理件数	件	271	873	914	△ 41
8 閉栓処理件数	件	334	643	636	7
9 給水工事設計審査	件	56	105	129	△ 24
10 給水工事竣工検査	件	42	142	226	△ 84
11 経年メーター交換	件	275	305	331	△ 26
12 メーター口径変更	件	0	5	5	0
13 月末停止件数	件	1	1	3	△ 2

### 3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	208,065,695 円	45.84 %	209,174,945 円	45.80 %
15 過年度分	7,892,988 円	95.79 %	8,157,752 円	95.79 %
16 全 体(計)	215,958,683 円	-	217,332,697 円	-

### 4 給水装置工事指定業者(増減無し)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	119	224

### 5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	9/9	20/20	3/3	4/4	5/5	5/5	1/1	3/3	0/0	8/8	0/0	0/0
契約締結	一般	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	指名	7	16	2	2	5	5	0	1	0	8	0
	随契	2	3	1	1	0	0	1	2	0	0	0
合計	9	20	3	4	5	5	1	3	0	8	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計 0/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

### 6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	0	0	
中間検査	1	1	工事
合 計	1	1	

### 7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	9日	5月 事業打合せ等
事業調整会議	9日	第2回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	9日	第2回 行事計画、日程調整等
水道事業連絡会議	10日	第2回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
水道ブースター会議	18日	5月期 水道週間について
給水拠点設置訓練	22日	5月期 登米総合支所(水道事業所合同)
経営分析会議	22日	4月期 各種経営分析等
例月出納検査	24日	4月分 例月出納現金検査
指名委員会	11・25日	第3回・第4回
入札会	11・25日	4件・5件
緊急メールの発出	-日	漏水情報8、配信訓練1、水質情報5

## 特 記 事 項

### 1. 5月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ア 収益的収支

当期の給水収益は200,703千円(税込)で、前月期に比べて17,224千円の増で、対前年同月比では1,510千円の増となっています。営業収益は手数料収益542千円を含む201,245千円、営業外収益は事務手数料3,743千円を含む3,765千円となりました。

当期の営業費用は92,100千円で、対前年同月比では21,721千円の増となっています。特別損失は21千円を執行しました。

##### イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金625千円、加入金1,696千円となっています。支出は、配給水施設整備費で2,714千円を執行しました。

##### ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,550千円執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 平成28年度決算の概要

平成28年度決算を調整し、5月19日に市長へ提出しました。決算の概要は次のとおりです。

収益的収入	26億9,577万円	収益的支出	23億4,333万円
資本的収入	21億5,795万円	資本的支出	31億8,846万円
純利益	1億9,284万円		

平成28年度の給水収益は、22億6,575万円(予算比527万円減、対前年比2,537万円減)で決算しました。

#### (2) 市民参加の新たな森林づくり・春

市民参加の新たな森林づくりが5月21日(日)に津山町横山宇大萱沢地内で実施されました。当日は、市民の参加者、みどりの少年団等約200名が参加しました。水道事業所からは職員4名と水道業務受託者2名、給水車1台の参加で、植樹の後、給水車の水を提供しました。



#### (3) 優良工事施工業者表彰審査委員会を開催

5月25日(木)に水道事業優良工事施工業者表彰審査委員会を開催しました。平成28年度水道事業所発注の300万円以上の工事53件を対象に審査を行い、優良事業者3社の表彰を決定しました。表彰式は7月26日に市長部局と合同で開催します。

#### (4) 5月期災害訓練を実施

5月22日(月)に5月期の水道事業所災害訓練を実施しました。今回は、登米総合支所での給水拠点設置訓練と併せて実施したもので、登米総合支所、水道事業所、水道業務受託者の参加となりました。新体制後初めての設置訓練ということもあり、給水タンクの組立から給水までの一連の作業手順を確認しながら、正確かつ迅速に行えるよう訓練を行いました。



#### (5) 職場巡視を実施

5月23日(木)に水道事業所安全衛生委員会による職場巡視を行いました。職場内の危険、有害要因を確認し対策を講じるためのもので、前回指摘のあった通路等に置かれた書類が整理されており改善がみられました。今後も適切な環境管理に努めます。

# 平成29年 5月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	861,673	1,683,964	1,641,940	1,667,897	42,024	16,067
総配水量	811,097	1,589,278	1,557,090	1,598,591	32,188	-9,313
1 有効水量	755,344	1,437,924	1,433,850	1,442,325	4,074	-4,401
(1)有収水量	706,567	1,340,535	1,333,400	1,345,811	7,135	-5,276
(2)無収水量	48,768	97,389	100,450	96,514	-3,061	875
2 無効水量	55,753	151,354	123,240	156,266	28,114	-4,912
(1)漏水量	55,500	151,048	122,000	155,845	29,048	-9,709
(2)その他無効水量	49	87	40	83	47	4
3 有収率	87.11	84.35	85.63	84.19	-1.28	0.16

※当月期の最大配水量は、25日(火)に記録した【27, 600m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	732,256	3	406,609	0	0	325,647	55.5%
イ 導水施設整備事業	1	17,820	0	0	0	0	17,820	0.0%
ウ 浄水施設整備事業	14	190,018	1	5,076	0	0	184,942	2.7%
エ 送水管整備事業	1	98,010	1	56,430	0	0	41,580	57.6%
オ 配給水施設整備事業	54	1,007,975	6	20,941	1	5,511	981,523	2.6%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査 ※おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4 mg/L 以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 9)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.58	0.39	0.45	0.42	0.42
最低	0.53	0.20	0.10	0.25	0.25
最高	0.64	0.57	0.70	0.47	0.47

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム 134	セシウム 137			セシウム 134	セシウム 137
保呂羽浄水場	H29.5.23	<0.8	<0.8	米谷水系浄水場	H29.5.23	<0.6	<1.0
石越浄水場	H29.5.22	<0.8	<0.8	楼台水系浄水場	H29.5.23	<0.8	<0.9
大萱沢浄水場	H29.5.23	<1.0	<0.8	合の木浄水場	H29.5.23	<0.9	<0.7
米川水系浄水場	H29.5.23	<0.8	<0.9	大綱木浄水場	H29.5.23	<0.7	<1.0
錦織水系浄水場	H29.5.23	<0.8	<0.9	—	—	—	—

## 特 記 事 項

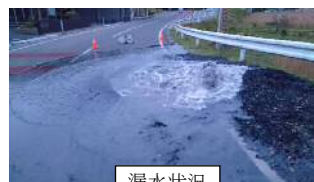
### 1 水道1号線漏水

5月12日(金)午前1時5分、佐沼警察署より迫町佐沼字沼向地内(登米市斎場前)において漏水しているとの連絡を受け、現場調査を行い水道1号線(DCIPφ250)からの漏水を確認しました。

同管路は、「旧登米地方広域水道企業団」が「用水供給事業」の創設時(昭和51年)に布設したもので40年が経過し、埋設土壌や地下水を起因とする管体腐食(穴あき)漏水でした。

現場状況により、断減水等の影響世帯が多数予測されたことから、午前6時、2号配備(警戒配備第0号)としました。復旧は、仕切弁操作により断減水影響箇所の縮小(約50戸)を図り、袋ジョイント施工にて午後0時30分完了し、同時に2号配備(警戒配備第0号)を解除しました。

今後、老朽化した管路の更新を計画的に行い、より安全・安心で安定した水道を目指します。



漏水状況



管体状況



修理状況

### 2 第59回水道週間「記念植樹」開催

5月31日(水)午後1時30分から、登米町日根牛字上羽沢(市有林)地内で第59回水道週間記念植樹を行いました。

水源涵養林として、雨水を吸収し水源を保ち、併せて河川への流入を調節する森林を目指し、登米町森林組合の指導のもと、登米中学校1年生39名(引率教員4名)により、オオヤマザクラ、キハダ、カツラの苗木200本を植樹しました。

植樹は包括業務受託者、産業政策課の協力を得て、水道事業所職員と合わせ33名が作業の補助にあたりました。



### 3 新田配水池給水区域拡張

5月31日(水)午前0時、迫町新田の板橋区と駒林区まで新田配水池の給水区域を拡張しました。

既に給水を行っている南方町の一部(一ノ曲区、狼掛区、沼崎区、畑岡区、柳沢区、青島区、須崎区、平貝区、苔上区、苔下区)と合わせて1日あたり約800m<sup>3</sup>、約1,040件に給水します。

### 4 平成29年5月の漏水調査結果について

5月末の漏水調査の結果8件12.49m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85.6%を目標に調査を実施します。

### 5 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生していません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	4	6.98
	付属施設	2	3.50
	給水管	2	2.01
	計	8	12.49